

U.S. Indicators

発表日:2018年9月21日(金)

米国 18年9月フィラデルフィア連銀製造業景況指数

～貿易戦争の影響を吸収して拡大継続中～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部
主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:03-5221-5001)

フィラデルフィア連銀製造業景況指数

	現状 総合	新規受注	出荷	在庫	雇用	入荷遅延	受注残	販売価格	仕入れ価格	交易条件	6ヵ月先 見通し 総合	設備投資
17/09	25.8	28.9	27.3	▲ 0.8	8.9	13.2	15.2	21.9	33.5	▲ 11.6	55.0	39.4
17/10	28.8	23.3	26.0	5.1	30.7	19.9	12.1	14.1	37.6	▲ 23.5	47.2	39.5
17/11	24.3	24.2	23.8	▲ 5.5	22.1	15.2	16.6	9.6	36.9	▲ 27.3	48.7	37.6
17/12	27.9	28.2	23.9	▲ 1.1	19.7	11.0	12.8	12.6	27.8	▲ 15.2	52.7	38.5
18/01	22.2	10.1	30.3	9.4	16.8	6.1	▲ 1.8	25.1	32.9	▲ 7.8	42.2	36.2
18/02	25.8	24.5	15.5	▲ 0.9	25.2	4.5	14.5	23.9	45.0	▲ 21.1	41.2	40.4
18/03	22.3	35.7	32.4	16.5	25.6	14.0	20.1	20.7	42.6	▲ 21.9	47.9	35.9
18/04	23.2	18.4	23.9	9.5	27.1	20.7	7.8	29.8	56.4	▲ 26.6	40.7	29.8
18/05	34.4	40.6	25.8	8.1	30.2	18.5	15.3	36.4	52.6	▲ 16.2	38.7	21.6
18/06	19.9	17.9	28.7	10.2	30.4	9.6	▲ 2.7	33.2	51.8	▲ 18.6	34.8	36.5
18/07	25.7	31.4	24.7	14.4	16.8	11.0	11.0	36.3	62.9	▲ 26.6	29.0	31.4
18/08	11.9	9.9	16.6	15.4	14.3	6.4	5.6	33.2	55.0	▲ 21.8	38.8	27.1
18/09	22.9	21.4	19.6	▲ 3.5	17.6	11.1	12.6	19.6	39.6	▲ 20.0	36.3	26.7

(出所)フィラデルフィア連銀

18年9月のフィラデルフィア連銀製造業景況指数(フィラデルフィア連銀管轄地区の製造業、ゼロが拡大縮小の分岐点)は+22.9と前月比11.0%上昇し、市場予想の+18.0を上回り、ISM製造業景況指数で57程度を示す高い水準となった。貿易戦争が本格化しているが、その悪影響を吸収し拡大を続けている。また、この統計は月次での変動が大きいため、3ヵ月移動平均で基調をみると、総合指数は同地区製造業の活動が堅調さを維持していることを示している(2Pグラフ参照)。

現状判断では、在庫がマイナスに転じた一方、新規受注、入荷遅延、出荷、雇用がプラス幅を拡大した。新規受注、出荷、雇用など月次で大きく変動する傾向にあるが、均してみると依然高い水準を保っており、同地区製造業部門の堅調なペースでの拡大持続を示している。

インフレ面では、仕入れ価格が大幅に低下したが高い水準にとどまっていることから、川上からのインフレ圧力は強いままである。一方、販売価格は仕入れ価格が前月から大幅に低下、水準も切り下がっており川下での物価上昇圧力が若干弱まっていることを示している。

収益環境についてみると、仕入れ価格と販売価格の差が大幅なマイナスにとどまっており、交易条件は悪化したままである。川上での物価上昇圧力を企業が吸収せざるを得ない状況にあることが示されており、コスト削減圧力の強い状況が続いていると判断される。

先行きに関する調査では、主要な“半年後の景況感”、“新規受注”、“出荷”、“雇用”を示す指数がそろって小幅低下にとどまり、高い水準を維持している。景気の先行きに対する楽観的な見方の強い状況が続いており、活発な生産活動の継続や、雇用の拡大持続が示唆されている。

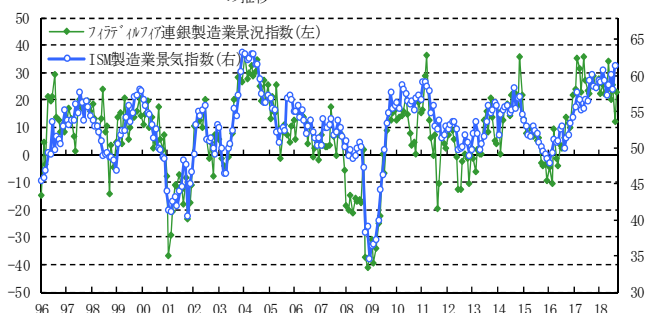
半年後の収益環境では、「仕入れ価格が上昇するとの見方の割合」が低下したが、「販売価格が上昇するとの見方の割合」が大幅に低下したことから、交易条件の悪化が予想されており、貿易戦争に伴うコ

ストの増加を容易には価格転嫁できないことを想定している。販売価格の鈍化を懸念し、企業は在庫の積み増しに慎重な姿勢になるとみられる。

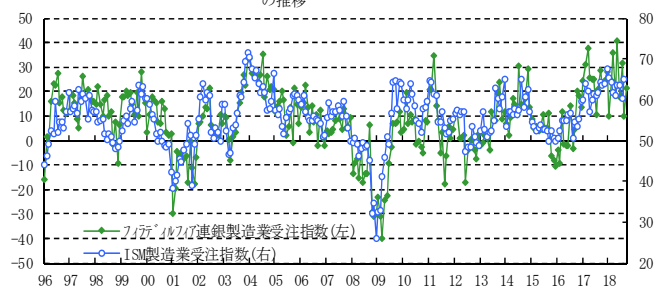
以上のように、フィラデルフィア地区連銀管轄の製造業は、受注、生産などの堅調持続を見通している。また、特別質問では第3四半期の生産は第2四半期と比較して、拡大するとの回答の割合が56.3%と縮小するとの回答の割合の35.9%を大きく上回っている。第4四半期の生産活動については、第3四半期比で拡大するとの回答が50%、縮小するとの回答が26.6%と生産拡大ペースの加速が示唆されている。この生産拡大に、24.3%が雇用の拡大、21.6%が現在の従業員の労働時間の増加、13.5%がその他で対応すると回答しており、雇用の拡大には若干慎重な姿勢になっている。

フィラデルフィア連銀製造業景況指数は、ペンシルベニア州東部、デラウェア州、ニュージャージー州南部の製造業の景況感を表す指標であるが、全国の製造業の景況感を示すISM製造業景況指数と似た動きをすることが多い。9月はフィラデルフィア連銀製造業景況指数が上昇した一方、NY連銀製造業景況指数(エンパイア・ステイト景況指数)が低下したことから、9月のISM製造業景況指数は58.1と8月の61.3から小幅低下するが、製造業の堅調さを示す水準を維持すると予想される。

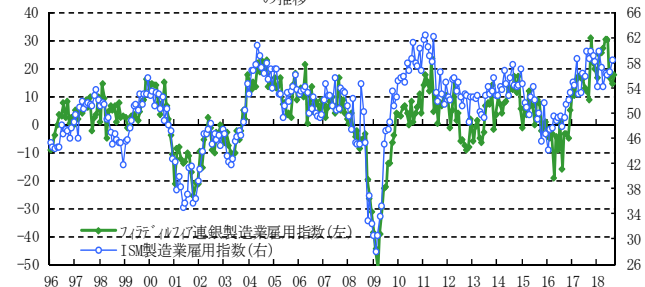
フィラデルフィア連銀製造業景況指数とISM製造業景況指数の推移



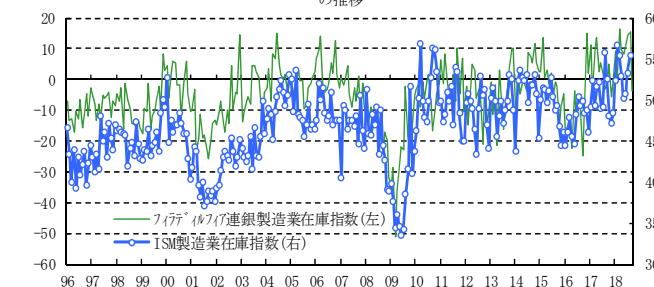
フィラデルフィア連銀製造業受注指数とISM製造業受注指数の推移



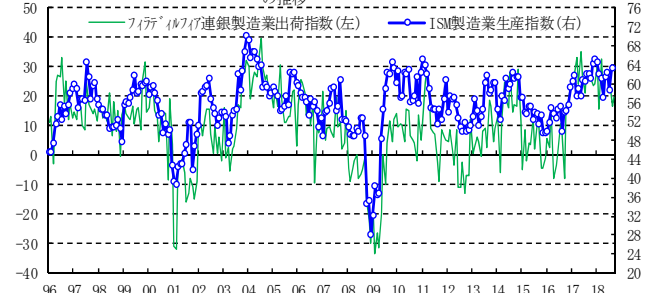
フィラデルフィア連銀製造業雇用指数とISM製造業雇用指数の推移



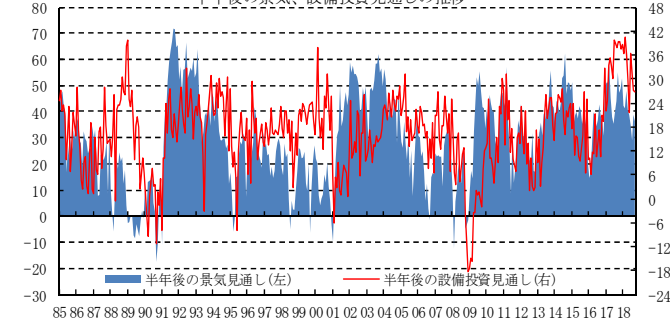
フィラデルフィア連銀製造業在庫指数とISM製造業在庫指数の推移



フィラデルフィア連銀製造業出荷指数とISM製造業生産指数の推移



半年後の景気、設備投資見通しの推移



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

